指定管理者評価表

平成26年6月30日現在

公の施設の名称	芦屋市立美術博物館
指定管理者の名称	小学館集英社プロダクション，芦屋ミュージアム・マネージメント，グローバルコミュニティ グループ
指定期間	平成23年4月1日～平成26年3月31日
所在地	芦屋市伊勢町12番25号
施設概要	芦屋市立美術博物館（展示室，講義室，体験学習室，ホール，小出楢重アトリエ，喫茶室） 開館時間10：00～17：00（ただし，入館は16：30まで）
業務概要	芦屋市立美術博物館の維持管理，利用許可，運営等に関する業務

利用状況等	項目名	平成25年度	平成24年度
	入館者数	33,040 人	27,540 人
	内，有料入館者数	7,822 人	7,641 人
	内，無料入館者数	25,218 人	19,899 人

所管課・記入者	社会教育部生涯学習課　長岡 一美
評価対象期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日

評価項目		説明	評価
1 適正な施設の管理			A
	施設保守・管理	施設の保守，管理が適正に実施されているか	
	従業員管理	合理的な配置か，責任体制が整った配置か	
	危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか	
	個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか	
	研修計画	従業員研修が十分に実施されているか	
2 収支・経費節減			C
	収支状況	事業計画に沿った収支の状況か	
	経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか	
3 サービスの質の維持・向上			A
	事業計画性，透明性	事業が計画的に，かつ透明性を確保して実施されているか	
	サービス向上	サービス向上の取組みがされているか	
	施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか	
	利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか	
	住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか	
4 その他			A
	数値目標	数値目標等を設定しているか	
	評価の実施	内部評価を実施しているか	
	外部監査等の実施	外部機関による監査等を実施しているか	

（単位：円）

収支の状況	事業計画上の金額	実績額
平成24年度収入	73,310,000	74,211,843
平成24年度支出	73,299,000	75,942,582
平成24年度収支	11,000	−1,730,739
平成25年度収入	73,516,000	82,045,757
平成25年度支出	73,506,000	89,275,133
平成25年度収支	10,000	−7,229,376

総合評価	評価の理由，次期指定に向けての課題等
B	施設管理面では清潔で快適な空間創出のため，日常の清掃・点検のみならず，各機器類の不具合箇所等早期発見に努め，即時適切に対処している点，サービス面では指定管理者制度が導入された平成23年度より年々約5,500人以上の入館者数の増加を見るなど，事業展開に施設利用者のニーズを反映させる工夫がみられる点を評価しA評価とした。しかしながら，収支面においての大幅な赤字はバランスを欠いていると言わざるを得ず，C評価とした。以上の点を踏まえ，総合評価としてはB評価としたが，今後は現在の積極的な広報活動を維持するとともに，適正な収支バランスを図ってもらいたい。

※ 四半期調査の結果等を精査し，1～4の大項目ごとに評価を行った後，総合評価を行うこと。

※ 評価は，S～Dの5段階評価とする。

S：目標や計画を上回る成果があった。　A：目標や計画をやや上回る成果があった。　B：目標や計画どおりの成果があった。

C：目標や計画を下回った。　D：目標や計画を下回っており，指導にもかかわらず改善されない。

自主事業(1)

平成26年6月30日現在

公の施設の名称	芦屋市立美術博物館

自主事業の内容	実施時期	進捗状況	指示事項等
1 事業計画書に記載のあるもの(内容，金額等)			
展示事業	5月～6月 (38日間)	コレクション版画　展 1,697人	
	7月～8月 (30日間)	学習雑誌にみるこどもの歴史　展 2,042人	
	8月～10月 (32日間)	アートピクニックvol. 3 マイホーム　ユアホーム　展 1,553人	
	10月～11月 (32日間)	ゲンビ　現代美術懇談会の軌跡　1952－1957　展 1,375人	
	翌年1月～翌年2月 (26日間)	The Collection“具体円熟/終幕”“芦屋ライフスタイル劇場”展 1,190人	
	翌年3月 (1日)	世界を魅了したやまとなでしこ－浮世絵美人帖　展 75人	
	5月～12月 (147日間)	芦屋の歴史と文化財展	
	翌年1月～翌年3月 (26日間)	昔の暮らし－和 WA 日本の伝統工芸品－展	
公募展等	12月 (15日間)	芦屋市展 1,330人	
	翌年2月～翌年3月 (8日間)	芦屋市造形教育展 4,476人	
2 事業計画書に記載のないもの(内容，金額等)			
展示事業	4月～5月	世界を魅了した「青」－浮世絵名品　展 5,560人	
展覧会関連事業	4月	学芸員によるギャラリートーク 50人	
講演会	4月	「浮世絵と青」,「青の文化史」 63人	

平成26年6月30日現在

公の施設の名称	芦屋市立美術博物館

自主事業の内容	実施時期	進捗状況	指示事項等
1 事業計画書に記載のあるもの（内容，金額等）			
展覧会関連事業	5月～翌年2月	学芸員によるギャラリー・トーク等16回 延べ629人	
講座・講演等	4月～翌年3月	講演会「博覧の宮殿と極小の私宅－境界なきアートの神話」「芦屋レディ物語－大正・昭和」等7回 182人	
ワークショップ等	7月～翌年3月	絵本作家と作る「世界でたったひとつの絵本」，Tシャツに絵を描いてみよう等15回 963人	
アートバザール	4月，10月（4日間）	来場者延べ4,569人	
その他イベント	4月～翌年3月	武満　徹の世界を歌う，東日本大震災追悼コンサート等11回 1,326人	
2 事業計画書に記載のないもの（内容，金額等）			

サービス向上策

平成26年6月30日現在

公の施設の名称	芦屋市立美術博物館

サービスの向上策	実施時期	進捗状況	指示事項等
1 事業計画書に記載のあるもの			
2 事業計画書に記載のないもの			
関西広域機構が取り組む文化振興事業に参加し入館料を無料とした。	11月 2日間	関西文化の日	
兵庫県内の65歳以上の高齢者を無料招待。	9月15日	老人の日	
入館者無料の日の設定	9月16日	敬老の日	
隣接する喫茶店と提携し，入館者に割引喫茶券を配布している。	4月～翌年3月		
学芸員博物館実習生を受け入れる。	7月，8月 5日間	6名	
「トライやるウィーク」で市内中学校の生徒を受け入れる。	11月 5日間	3名	

収支状況

平成26年6月30日現在

公の施設の名称	芦屋市立美術博物館

【 平 成 ２ ５ 年 度 】 （単位;円）

収　入

項　　目	事業計画	実　績
指定管理料	69,800,000	74,716,260
利用料金収入	3,466,000	4,807,400
自主事業収入	250,000	1,155,431
その他		1,366,666
計	73,516,000	82,045,757

支　出

項　　目	事業計画	実　績
人件費	20,335,000	22,146,757
事務費	5,580,000	4,141,736
管理費	25,741,000	30,619,350
事業費	20,650,000	32,367,290
その他	1,200,000	
計	73,506,000	89,275,133
収　支	10,000	−7,229,376

【 平 成 ２ ４ 年 度 】 （単位;円）

収　入

項　　目	事業計画	実　績
指定管理料	69,800,000	69,800,000
利用料金収入	3,260,000	3,513,060
自主事業収入	250,000	569,900
その他		328,883
計	73,310,000	74,211,843

支　出

項　　目	事業計画	実　績
人件費	20,015,000	22,327,827
事務費	5,544,000	4,470,365
管理費	25,590,000	26,293,893
事業費	20,950,000	22,850,497
その他	1,200,000	
計	73,299,000	75,942,582
収　支	11,000	−1,730,739